

第3回～第6回調整協議会での主な意見等	ページ	項目	ガイドライン(案)への反映
<ul style="list-style-type: none"> <li>狙うべき文化資産や産業の分野を具体的に絞り込み、どれだけのものを、どれだけ誘致するのかなど、育成や誘致に取り組むことが必要だ。(第4回)</li> </ul>	3～4 7～8	都市再生の意義、位置づけ戦略1	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市再生の意義、位置づけ： 方向性として経済的な分野だけでなく、文化などの面での都市のあり方について記載。また、育成・誘致に取り組む対象として、先導的な若者文化の発信拠点、音楽・デザイン・ファッションなどの分野での集積、NHKに代表される質の高い生活文化コンテンツを育み発信し、体感する拠点を記載</li> <li>戦略1全般： 既存の文化ストックとの連携による生活文化の創造・発信、交流する拠点の形成として反映</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>NHKの持つ文化的な意味は渋谷にとってきわめて重要(第3回)</li> </ul>	3～4 7～8	都市再生の意義、位置づけ戦略1	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市再生の意義、位置づけ： 音楽、デザイン、ファッションなどの集積とその発信拠点として記載</li> <li>戦略1方策2： 既存の文化施設との連携・機能分担による渋谷全体における生活文化の創造・発信機能の強化や、既存文化ストックの活用を図る拠点機能の整備（サテライトスタジオ、アーカイブセンター）として反映</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>若者が集う街の魅力を評価すべき。若者文化を育てる加藤-特区のようなことも考えていくべき。(第4回)</li> <li>IT分野に渋谷が頼ってしまっているのかということもある。(第4回)</li> </ul>	7～8	戦略1	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略1方策2： アーティストやクリエイターの感性を刺激し、新たな都市型産業にも対応する高質・高感度な拠点の整備や、ファッションショーや音楽祭、映画祭などのイベント開催といったソフト環境の整備、周辺大学などの教育機関との産学連携機能の導入として反映</li> <li>戦略1方策3： “渋谷らしい”生活文化”のライフスタイルを支援し、多様な都市活動を支える機能の強化として反映</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>IT関連事業者が事業規模拡大の時点で六本木などに流れるのは渋谷のビルが小規模なのも一因。(第4回)</li> <li>渋谷に残れるような器を準備していかないといけない。(第4回)</li> <li>渋谷には大規模ビルを建てるスペースがなく、地域が小さくまとまっている。土地の高度利用も視野に入れるべき。(第4回)</li> </ul>	7～8	戦略1	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略1方策2： アーティストやクリエイターの感性を刺激し、新たな都市型産業にも対応する高質・高感度な拠点の整備（ハイグレードオフィス等）として反映</li> <li>戦略1方策3： 広域渋谷圏に居住する人々を魅了する地区特性をふまえた商業・業務機能の導入として反映</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>商業、業務、教育など地域の特色を育てていくことがまち全体のプラスになる。(第4回)</li> </ul>	7～8	戦略1	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略1方策3： 地区特性をふまえた商業・業務機能の導入として反映</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>駅周辺は来訪者にとってわかりやすく、歩きやすいことが重要。(第4回)</li> </ul>	11～12 13～14	戦略3 戦略4	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略3まちづくり方針： 楽しく・わかりやすく・快適な歩行者ネットワークの形成として反映</li> <li>戦略3各方策： 地上部を中心とした拠点開発と街を結ぶわかりやすい歩行者ネットワークの整備、多層な都市基盤や街をつなぐ”アーバンコア”の整備、人々が憩い、たまり、交流できる広場空間の整備、谷地形をフラットにつなぐ歩行者ネットワークの整備として反映</li> <li>戦略4まちづくり方針： 交通結節機能の再編・強化等による快適な歩行環境の形成として反映</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>2階に多少通路を作ってもいいが、中心は1階だということにしないとわかりにくいまちになってしまう。1階を大事にすれば2階以上も繁盛する。(第4回)</li> </ul>	11～12	戦略3	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略3方策1： 地上部を中心とした拠点開発とまちを結ぶわかりやすい歩行者ネットワークの整備、地上部の坂道や路面店の賑わいを促進し、歩いて楽しい歩行者ネットワークの形成として反映</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模ビルに来街者を封じ込めず、周囲に積極的に広げる方策を最大の方針とすべき(第3回)</li> <li>デッキの整備は注意が必要。歩行者が街に流れる回遊性のあるまちづくりにしたい。(第4回)</li> </ul>	11～12 19～20	戦略3 戦略7	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略3各方策： 地上部を中心とした拠点開発とまちを結ぶわかりやすい歩行者ネットワークの整備、人々が憩い、たまり、交流できる広場空間の整備</li> <li>戦略7方策3： 周辺地域へのまちづくりの連鎖、波及効果を意識したまちづくりを実施、周辺地域への広がりを持った歩行者ネットワーク形成として反映</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>渋谷の来訪者が若年化とあるが、最近では高齢者も増え、変化が見られる。大人も安心してこられるまちづくりをすすめるべき。(第4回)</li> </ul>	7～8 11～12	戦略1 戦略3	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略1方策3： 渋谷に住んでいる人、働いている人に対するサポート機能の導入(フィットネス、託児施設、行政サポート、図書館、医療・福祉施設)として反映</li> <li>戦略3方策4： 谷地形をフラットにつなぐ歩行者ネットワークの整備、敷地内・建物内を活用した多層的な新たな歩行者ネットワークとして反映</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>渋谷の特徴という「地形」であり、それを大事にすべき。(第5回)</li> <li>坂の街、路面店の街、文化の街といった点を大事にすべき(第3回)</li> </ul>	11～12 17～18	戦略3 戦略6	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略3方策1： 地上部の坂道や路面店の賑わいを促進し、歩いて楽しい歩行者ネットワークの形成として反映</li> <li>戦略6まちづくり方針： 多様な界隈や坂・谷戸といった地形、沿道ごとの個性的な街並みといった渋谷独自の景観を生かしながら拠点を形成することとして反映</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>沿道ごとの特色が渋谷らしさにとって重要。(第3回)</li> </ul>	7～8 17～18	戦略1 戦略6	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略3方策3： 地区特性をふまえた商業・業務機能の導入として反映</li> <li>戦略6方策3： 渋谷らしい個性的な街並み、多様な界隈、活気と賑わい景観の形成、沿道ごとの特色を生かした個性的な街並みの形成として反映</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>開発に取り残されるところが出るのではないか。そういうところの支援策を盛り込むことが重要。(第3回)</li> <li>マイナス面や競合関係を明確にした上で戦略を立てていくべき。(第4回)</li> </ul>	19～20	戦略7	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略7方策3： 持続的・広域的な成長に向けたまちづくりを実現するエリアマネジメントの実施、周辺地域へのまちづくりの連鎖、波及効果を意識したまちづくりを実施、周辺地域への広がりを持った歩行者ネットワーク形成として反映</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略7では「協働型のまちづくり」の精神を盛り込むべき。(第6回)</li> </ul>	19～20	戦略7	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略7まちづくり方針： 渋谷の将来像を具現化する協働型まちづくりの進め方、開発の連鎖による協働型まちづくりとして反映</li> <li>戦略7方策3： 持続的・広域的な成長に向けた協働型まちづくりを実現するエリアマネジメントの実施として反映</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>地元の団体の相互の連携は十分にやっている。(第6回)</li> </ul>	19～20	戦略7	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略7まちづくり方針： 渋谷においては、優れたまちづくり活動を行っている組織があり、相互の連携をより一層高め、体系的な運営をしていくことが求められるとして反映</li> </ul>